

6月1日からの通常授業再開に関するガイドライン
(新型コロナウイルス対策)

2020年5月27日
福岡外語専門学校
新型コロナウイルス対策本部

専任教職員・非常勤講師各位

6月1日の通常授業再開にあたり、以下の通りに学校ガイドラインを定めますので周知徹底をお願い致します。

1. 新型コロナ対策に関わる学校基本方針について

1-1. 新型コロナウイルス対策本部の設置 (3月19日設定)

3月19日付にて、理事長岩本仁を本部長とする「新型コロナウイルス対策本部」を設置しました。今後の学校対応指針について、随時関係者と協議・決定し、随時情報開示を行って参ります。

1-2. 当校から発症者が出た場合の基本方針 (3月19日設定、5月25日一部変更)

当校の学生・教職員(非常勤講師含む)から新型コロナウイルス発症者が出た場合、速やかに保健所に連絡し、保健所の指示に従い対応を取ることとします。

1-3. 集団での飲食自粛について (3月19日設定)

全教職員・全学生に、10名程度以上で飲食を囲む行為について、当面は自粛することを要請します。関連して、4月2日に予定していた新任教職員・非常勤講師の歓迎会は中止とすることを決定しました。また、4月8日に開催を予定していた入学式も中止としました。

2. 6月1日からの対応 (5月25日設定)

2-1. 検温について

専任教職員・非常勤講師は、出勤前に自宅にて検温し、37.5℃以上の発熱がある場合は出勤を控えるようお願いいたします。出勤時の検温は行いません。

学生も、まずは登校前に自宅にて検温するようご指導ください。更に登校時、検温を実施します。
自宅での検温時に37.5℃以上の発熱がある学生は、学校に連絡するよう学生にご指導ください。

【登校時の登校時対応 (検温・手消毒・マスクチェック)】 ★サーモグラフィーで検温する場合

サーモグラフィーにて検温する場合は、1限開始前は午前・午後ともに裏口を施錠します。

自転車当番になっている事務局職員2名は、「裏口からは入れない」「玄関側から入ること」を指導します。

<検温>

検温担当者(事務局職員・合計3名)がロビーに待機し、サーモグラフィーにて登校学生の検温を行います。担当の内訳は、ディスプレイを見る者1名、37.2℃以上の者がいた場合に呼び止めに行く者が1名、マスクチェックと手消毒を指導する者が1名です。37.2℃以上の者は、ロビーに設置する再検査ブースへ行かせます。

検温にて入室が遅れる学生には、専用の検温遅延証明書を検温者が渡します。検温遅延証明書を持った学生は遅刻扱いにはしないでください。証明書は回収後、各授業担当者が廃棄して下さい。

<手消毒とマスクチェック>

登校時、学生にはロビーにて、手消毒（消毒液の擦りこみ）をさせます。

マスクを持っていない学生がいる場合は、1枚配布します。

検温担当者の中の1名が、手消毒とマスクチェックを行います。

【登校時の登校時対応（検温・手消毒・マスクチェック）】 ★非接触型で検温する場合

<検温>

検温担当者（事務局職員・教務課職員から合計5名）が、裏口と1階～4階の各廊下に1名ずつ待機し、登校学生の検温を行います。37.2℃以上の者は1階ロビーに設置する再検査ブースへ行かせます。

検温にて入室が遅れる学生には、専用の検温遅延証明書を検温者が渡します。検温遅延証明書を持った学生は遅刻扱いにはしないでください。証明書は回収後、各授業担当者が廃棄して下さい。

<手消毒とマスクチェック>

登校時、学生にはロビーまたは裏口検温所にて、手消毒（消毒液の擦りこみ）をさせます。

ロビーでは再検査ブース担当者が、裏口検温所では検温担当者が指導します。

手消毒の際、マスクを持っていない学生がいる場合は、1枚配布します。

2-2. マスク着用について

学校方針として、当面の間、学校内では全教職員・全学生・来客者全員に、マスク着用を要請します。

マスクは、全教職員・全学生に、学校から4枚配布します。（専任教員には朝礼などで配布、非常勤講師には職員室レターボックス投函にて配布、学生には6月1日1限にて配布となります。※1限担当者が配布）

マスクを持っていない学生が教室内にいる場合は、1階再検査ブースへマスクを取りに行かせて下さい。

マスク着用を拒否する学生がいる場合は、マスクを着用しないことの周りへの迷惑を伝え、協力を促して下さい。どうしても着用を拒否する場合は、1階再検査ブースへ行かせて下さい。

2-3. 学生の健康観察について

授業担当者は、毎時限の授業開始時、出欠確認と共に口頭での健康観察と顔色チェックを行って下さい。

下記の『体調不良疑い』に該当しそうな学生が見受けられる場合は、1階再検査ブースへ行かせてください。職員室には行かせないで下さい。保健室は当面の間、閉鎖します。

<『体調不良疑い』の基準>

- ・風邪の症状がある場合（咳、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、喉の痛み、頭痛、寒気など）
- ・37.5℃以上の発熱がありそうな場合 ※検温は1階再検査ブースで行いますので1階に行かせて下さい。
- ・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合
- ・味覚または嗅覚の違和感がある場合
- ・上記の他、体調が悪そうな場合

1階事務局または2階教職員（欠席者電話連絡担当者など）が、電話にて欠席連絡や相談を受ける場合は、所定用紙「健康観察チェックシート（仮称）」に沿い、詳しい聞き取りを実施し記入して下さい。記入した用紙は、毎日17時までに事務局へ提出して下さい。

2-4. 授業時の教室と、掃除について

密閉空間、人の密集、近距離での会話や発声の3つの条件が同時に重なる場を避けることを意識してください。

- ・窓を開けたまま授業を行うこと。冷暖房を入れる場合でも、窓は開けておくこと。
- ・学生間の距離は可能な限り空けること。学生とも極力離れて会話すること。
- ・基本的に机の向きは前方（教壇側）の状態を取ること。会話の距離が近くなることは避けること。
- ・マスク、鼻水が付いたティッシュ等を捨てる場合は、すぐに※消毒液を拭きかけてからごみ箱に捨てるよう指導すること。 ※消毒液…次亜塩素酸水のこと。各教室の教卓の上に置いています。

- ・【掃除監督者】掃除担当学生に、消毒液とペーパータオルで机・椅子・ドア・窓などを拭くよう指導すること。消毒液とペーパータオルの盗難や在庫切れがないかチェックし、ない場合は担任へ報告すること。
- ・【PC 授業担当者】授業開始時、キャビネットから PC を取り出す前に、学生に各自の手を消毒液で消毒させること。乾いたことを担当教員が確認した上でキャビネットから PC を出し、使用させること。使用後は PC を片付けた後、再度消毒液で手を消毒させて退出させること。
※注意！）消毒液を直接 PC に吹きかけないこと！PC が故障します。
- ・【初回授業担当者】6月1日の1限担当者は下の作業を行って下さい。
 - ①授業開始時に学生にマスク4枚セットを配布し、着用させること。4枚は1カ月分だと説明すること。
 - ②直近14日以内に海外から帰国した者がいないか確認し、いる場合は荷物を持って1階の検温ブースに行かせること。（聞き取り後に帰宅させ、14日間自宅待機期間を満了するまでは公欠扱いにします）

2-5. 担任の先生方へのお願い

担任を持たれている先生方は、以下の内容をクラス学生に、必ず説明・確認して下さい。

- ・手洗い方法と咳エチケット ※手洗い方法の DVD が職員室にありますので、必要であれば見せて下さい。
- ・抵抗力を高めることが重要であること
- ・換気の悪い密閉空間、人の密集、近距離での会話や発声の3つの条件が同時に重なる場を避けること
- ・2-2. の<『体調不良疑い』認定の基準>に該当する場合は、学校に連絡し、相談すること
- ・マスク、鼻水が付いたティッシュ等を捨てる場合は、すぐに消毒液を拭きかけてからごみ箱に捨てること
- ・掃除担当学生は掃除時、消毒液とペーパータオルで教室の机・椅子を拭くこと
- ・ロビーと自習室は当面の間は閉鎖となること、昼食は学校で取らないこと
- ・当面の間は、学校に長居しないこと（原則、下記時間を目安として下さい。）
(午前クラス) 8:30以降に登校し、授業後は13:20までに下校すること
(午後クラス) 13:10以降に登校し、授業後は18:00までに下校すること
- ・学校公式 LINE に登録し、氏名・クラスを送信すること

また、以下の対応もお願い致します。

- ・各クラス設置の消毒液とペーパータオルの在庫が少なくなったら、1階事務局にお知らせ頂くこと
- ・掃除人数を予め多めに設定して頂くこと

以上